

「水俣」から学んだこと

熊本県が行っている「水俣病に学ぶ肥後っこ教室」事業を利用して、5年生は、9月6、7日に集団宿泊教室を実施しました。

6日は、水俣病資料館、県環境センターを訪問し、夜はあしきた青少年の家で、杉本肇さんの講演を聞きました。

杉本肇さんの講演で、1学期から学んできた水俣病について1つ1つ確認していきました。その中で一番印象に残ったのは、杉本さんのお母さん(杉本栄子さん)のことでした。家族の中に水俣病の患者が出たとたん、これまで家族のようだった地域の人達との絆もなくなってしまったこと、水俣病の原因がチッソの排水によるものと分かって裁判をしているときに嫌がらせを受けたことなど「水俣病はつらくなかったが、差別はつらかった。」といわれていたそうです。このことばは、私の心に重く残りました。

杉本栄子さんは、2008年にお亡くなりになりましたが、生前「今は、チッソも国も、誰も恨まない。仲良くしよう。仲良くしたい・・・。」といわれていたそうです。

すべてを受け入れ、そして次への展望を述べておられた杉本栄子さんの志に感動させられました。これからの世界の動きにも当てはまるのではないかと感じました。

5年生も杉本さんの講演を聴き、さらに学びを深めていきたいと感じていました。水俣病の事後学習で、10月に杉本さんが来られます。なな話を聞かせるの楽しみです。



講演する杉本肇さん



←ペーロン船、↑資料館にて

**しっかり学んだ
集団宿泊教室****南Ba小会発足**

夏休み中の8月2日に、熊本県版コミュニティースクール学校地域づくり協議会(南Ba小会)の発足を開催いたしました。

簡単にこの会の説明をいたしますと、学校をよくするために、家庭や地域の協力をいただきながら、学校の課題を共有し解決していく組織です。

メンバーは、南校区活性化協議会長、南校区青少年健全育成協議会長、南小学校評議員、南部町民センター長、地域学校協働活動推進員、南小PTA会長、学校担当者(校長、教頭)です。南Ba小会の記念すべき第1回の会長には、活性化協議会長の吉山新也さんが就任されました。

活動は、環境班、読み聞かせ班、下校支援班、学力支援班、地域交流班の5つに分かれ学校の課題解決に向けて動いていきます。学校の課題は、校地の除草、緊急時の下校指導、朝の学習の丸つけなど結構あります。

9月11日に第2回目の会議を持ちましたが、これらの課題について、意見を交わし、それぞれの班で具体的な活動を進めて行くことになりました。学校からの急な課題として、池の水漏れ対策、英語コーナーづくりについても相談しましたが、すぐに段取りを考え

ていただくなどとても心強い存在になっています。職員室でも評判になり2年生が描いた運動会のポスターも南Ba小会を通じて各地区に配付・掲示していただきました。学校からお願いすることもあります。地域や保護者の皆様のご意見も取り入れていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



5年生の集団宿泊教室は、水俣の学習のほか、北小の新しい仲間と活動することも学びました。活動班の中に1人ずつ分かれて入りましたが、新しい友達を作り、仲良く、楽しく活動することができました。とてもたくましくなってきました。

まつぼり風の夢

南Ba小会のメンバー



2年生が運動会の掲示を依頼しました

